

令和2年8月17日

地球規模保健課題解決推進のための研究事業
日米医学協力計画の若手・女性育成のための日米共同研究公募に係る
事後評価コメント

研究開発課題名 Automated detection of outbreaks of antimicrobial-resistant bacteria in Japan
研究開発機関名 国立感染症研究所
研究開発代表者名 矢原 耕史

指摘事項

● 評価できる点

AMR のアウトブレイクを早期に検出する方法を確立するために、国内約 1000 病院のデータを WHONET を用いて解析した結果、院内の薬剤耐性菌のサーベイランスに寄与する新しい疫学評価システムを開発したことは評価できる。

● 疑問点、改善すべき点

日米間の研究協力がソフトウェアの提供のみに留まらず、国内の解析結果が、アメリカでの医療環境に適用して比較を行うことを期待する。また、将来の実践的医療現場での応用に向けて、医療現場のニーズを反映させた研究の継続が望まれる。

以上